WILCOMM

AS/400 メッセージリスト 件名表示の設定方法

ASO011 (Last Update : 2002/7/29)

WilComm AS400 V7.15 © Copyright 2000 K.I.S.S. Inc.



本解説書は、AS/400 メッセージリストの件名表示の設定方法について述べています。 AS/400 メッセージリストの件名は、スプールファイルの属性項目である「用紙タイプ (FORMTYPE)」単位に表示内容を設定することが可能です。

固定文字及び、スプールデータの値を 50 桁以内で件名フィールドに設定することができます。

ここでは、スプールデータにある日付と時刻を件名にセットする例で、その設定方法を説明しています。

MAIN

AS/400 メイン・メニュー

システム: S104422G

次の中から1つを選んでください。

- 1. ユーザー・タスク
- 2. オフィス・タスク
- 3. 汎用システム・タスク
- 4. ファイル,ライブラリー,およびフォルダー
- 5. プログラミング
- 6. 通信
- 7. システムの定義または変更
- 8. 問題処理
- 9. メニューの表示
- 10. 情報援助オプション
- 11. クライアント・アクセス /400 タスク
- 90. サイン・オフ

選択項目またはコマンド

===> <u>GO W</u>

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンド の複写 F12= 取消し F13= 情報援助 F23= 初期 メニュー の設定

(C) COPYRIGHT IBM CORP. 1980, 1996.

コマンドラインから GOW を実行します。

MNO00201 WILCOMM スプールファイル配布管理システム

システム : \$104422G

次の中から1つを選んでください。

- 1. 新規メッセージの作成
- 2. メッセージ・リストの表示
- 3. ディレクトリー照会
- 4. ディレクトリー・メンテナンス
- 5. WILPLEX ユーザーへの AS/400 メッセージ送信
- 6. 世界時計
- 7. クイック・メッセージ表示
- 8. クイック送信
- 11. ウィルスプール・ユーティリティ
- 40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー
- 50. スプールファイル・インターフェース・メニュー

続く ...

選択項目またはコマンド

===> 50

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザー・サポート F16=AS/400 メイン・メニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES VSN : 7.10

メニュー50:スプールファイル・インターフェース・メニューを実行します。

MN000203 スプールファイル・インターフェース・メニュー

システム: S104422G

次の中から1つを選んでください。

- 1. 日次処理ファイル編集
- 2. SFI 印刷待ち行列の処理
- 3. 不整合サブスクライバーの表示
- 4. SFI バックグラウンドジョブ "POLL" の投入
- 5. SFI バックグラウンドジョブ "POLL" の終了
- 6. フォームタイプ・メンテナンス
- 30. WILCOMM スプールファイル配布管理システム
- 40. ウィルコム OUTQ インターセプター・メニュー
- 60. アプリケーション・コントロール・メニュー
- 70. WILCOMM セキュリティ・メニュー

続く ...

選択項目またはコマンド

===> 6

F3= 終了 F4=プロンプト F9=コマンドの複写 F12= 取消し F13=ユーザー・サポート F16=AS/400 メイン・メニュー

(C) 著作権 WILKINSON COMPUTER SERVICES VSN: 7.10

メニュー6:フォームタイプ・メンテナンスを実行します。

WILPLEX SPOOL FILE SUPPORT MENU ... FORM TYPE MAINTENANCE ...

THIS PROGRAM ALLOWS YOU TO DEFINE THE FORMTYPES YOU INTEND TO PROCESS THROUGH THE "SPOOL FILE INTERFACE". IT ALSO ALLOWS YOU TO DEFINE THE "CONTROL VALUES". BOTH OF THESE ACTIVITIES ONLY NEED TO BE PERFORMED ONCE.

WILPLEX FORM TYPE MAINTENANCE

CREATE ... TO CREATE A NEW FORMTYPE DEFINITION, SIMPLY KEY A "1" IN THE TOP SINGLE CHARACTER INPUT FIELD AND THE NAME OF THE NEW FORMTYPE BESIDE IT AND PRESS ENTER.

UPDATE ... TO UPDATE EXISTING FORMTYPE DEFINITION, KEY A "2" BESIDE IT AND PRESS ENTER.

DELETE ... TO DELETE A FORMTYPE DEFINITION, SIMPLY KEY A "4" BESIDE IT AND PRESS ENTER. YOU THEN BE PROMPTED TO CONFIRM ITS DELETION.

FORMTYPE DEFINITION FIELD MEANINGS.

THE "SUBSCRIBER LINE NUMBER" , "SUBSCRIBER OFFSET" & "SUBSCRIBER LENGTH"

DEFINE THE CO-ORDINATES AND LENGTH OF THE SUBSCRIBER VALUE WITHIN THE SPOOL +

実行キーを押します。

QSECOFR	WILCOM	/M/400 フォ-	- ៤ 	ンテナンス		7:46PM	0/12/01
位置指定							
	カして実行 2= 編集 7=>					の編集	
1 TESTFORM AAA BIL520 FAX MAILREPLY NSV410	フォーム タイプ ケ゛ループ AAA BIL520 FAX MAILREPLY NSV410 PDF	ライン NO 1 15 1	オフセット 23 47 1 1 12	長さ 5 20 7 30	ページ 66 66 66 66	宛先	
F3= 終了	F5=リフレッシュ	F8=システム #	制御値の3	变更	F11=フォール	ŀ⊦ F12=	前画面

先頭のオプション欄に1を入力します。

右隣のフォームタイプ欄に、新しく登録するフォームタイプ(スプールファイル属性の用紙タイプ)を入力して実行キーを押します。

ここでは、その用紙タイプが「TESTFORM」の場合に、件名にスプールデータにある日付と時刻をセットする例で説明しています。

QSECOFR	WILCOMM/400 フォーム タイプ゜メンテナンス	7:46PM	0/12/01
オプション を選択して、፮	実行 キー		
フォ−ム タイプ°	TESTFORM		
サブ スクライバー ライン 番号			
サブ スクライバ - オフセット サブ スクライバ - 長さ			
ライン パー ページ . データ メッセージ 要求	<u>66</u> N		
複数宛先可能な スプ	-ルファイル . <u>N</u>		
ファックスへッタ゛− ファックスフッタ−	· · · · · <u></u>		
	<u>TESTFORM</u>		
F3= 終了 F12= i	前画面		

実行キーを押します。

QSECOFR	WILCO	MM/400 フォー	-ム <i>タ</i> イプ゜ ን	シテナンス		7:51PM	0/12/01
位置指定							
	ウして実行 2= 編集 7=					の編集	
	フォーム タイプ゜ ク゛ループ゜	- サ ブスク	カライバー の	位置 -		複数	
- AAA					66	967	N
	B1L520						N
_ FAX	FAX						N
_ MAILREPLY							Υ
		14					N
- ' - '	PDF		2				N
7 TESTFORM	TESTFORM	1	1	30	66		N
F3= 終了	F5=リフレッシュ	F8=システム f	制御値の変	变更	F11=フォール	ト F12=	前画面

新しく登録したフォームタイプのオプション欄に7を入力して実行キーを押します。

	ページ レイアウト デザイン	
フォーム: TESTFORM	メッセーシ゛ タイトル フォーマット 編集	トップ゜ライン: 1
		レフト カラム : 1
		771 <i>3</i> 74 . 1
_ ^+1+2	+ 3 + 4 + 5	+6+/+
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ	F6=レフト/トップ 値の変更	F12= 前画面
│F15=フォーム を1行下に移動	〕 F16=フォーム を1行上に移動	

実行キーを押します。

ペ−ジ レイアウト デザイン					
フォーム: TESTFORM メ	ッセージ タイトル フォーマット 編集				
		レフト カラム : 1			
フォーム タイプ 終了 ライン 番号 終了 オフセット 開始 ライン 番号	ドンス NEW <001-001> TESTFORM 1 1	 			
l i	F10= 複写	į l			
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F15=フォーム を1行下に移動		F12= 前画面			

ここでは、固定ストリングの設定方法を説明します。(件名に固定文字を表示する設定) 挿入ストリングに、表示させたい文字列を入力します。(ここでは「日付:」とします。) データ/ストリング長に、入力した文字列の長さを指定します。(ダブルバイト文字の場合は、シフトイン/アウトも含めてください。) 実行キーを押します。

データ/ストリング長を指定しない場合でも、自動計算されます。 その場合は実行キーを押すと、STRING LENGTH CALCULATED という確認メッセージが表示 されますので、もう1回実行キーを押して下さい。

カーソルを"日付:"の右側、9桁目の位置へ持っていって、実行キーを押します。

	ページ レイアウト デザイン	
フォ−ム: TESTFORM メ։	ッセーシ゛タイトル フォーマット 編集	トップ [®] ライン: 1 レフト カラム : 1
フォーム タイプ [°]	<u>1</u> 9	
 F7=オリジナル 値の保管 +	F10= 複写	
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F15=フォーム を1行下に移動		F12= 前画面

メッセージリストの件名に表示させたいスプールデータ中の印刷データ域を指定します。 開始ライン番号に、印刷データ域(例:99/99/99)の印字されている行を指定します。 開始オフセットに、印刷データ域の印字が開始されている桁を指定します。 データ/ストリング長に、印刷データ域の幅を指定します。

上記設定内容は、スプールデータ 7 行目の 62 桁目から幅 8 バイトで日付が印字されている場合の例です。 実行キーを押します。

帳票から取得できるデータは、1~132 桁目までになります。

へ゜ージ レイアウト デザイン フォーム: TESTFORM メッセージ タイトル フォーマット 編集 トップ ライン: 1

レフト カラム : 1

*...+....1....+....2....+....3....+....4....+....5....+....6....+....7....+....

日付: <---->

F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F6=レフト/トップ値の変更 F12= 前画面

F15=フォーム を 1 行下に移動 F16=フォーム を 1 行上に移動

スプールデータから取得したデータを表示するエリアが予約されます。 次に、" <----> " の右側にカーソルを移動します。 ここでは、 2 0 桁目にカーソルを移動することにします。 実行キーを押します。

フォーム: TESTFORM メ	ページレイアウトデザイン ッセージタイトルフォーマット編集	トップ [®] ライン: 1 レフト カラム : 1	
フォーム タイプ 終了 ライン 番号 終了 オフセット 開始 ライン 番号 開始 オフセット データ/ストリング 長	ナンス NEW <001-001> TESTFORM120	 	
 F7=オリジナル 値の保管 +	F10= 複写	 F12= 終了 +	
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F15=フォーム を1行下に移動	F6=レフト/トップ 値の変更 F16=フォーム を1行上に移動	F12= 前画面	

ここでは、固定ストリングの設定方法を説明します。(件名に固定文字を表示する設定) 挿入ストリングに、表示させたい文字列を入力します。(ここでは「時刻:」とします。) データ/ストリング長に、入力した文字列の長さを指定します。(ダブルバイト文字の場合は、シフトイン/アウトも含めてください。)

実行キーを押します。

データ/ストリング長を指定しない場合でも、自動計算されます。 その場合は実行キーを押すと、STRING LENGTH CALCULATED という確認メッセージが表示 されますので、もう1回実行キーを押して下さい。 ページ・レイアウト デ ザ イン
フォーム: TESTFORM メッセージ・タイトル フォーマット 編集 トップ。ライン: 1
レフト カラム: 1

* . . . + . . . 1 . . . + . . . 2 . . . + . . . 3 . . . + . . . 4 . . . + . . . 5 . . . + . . . 6 . . . + . . . 7 . . . + 日付: <-----> 時刻:

F1=ヘルプ。 F5=リフレッシュ F6=レフト/トップ。値の変更 F12= 前画面 F15=フォーム を 1 行下に移動 F16=フォーム を 1 行上に移動

カーソルを" 時刻: "の右側、28 桁目の位置へ持っていって、実行キーを押します。

	ページ レイアウト デザイン		
フォ−ム: TESTFORM ⅓։	ッセージ・ タイトル フォーマット 編集	トップ゜ ライン: 1 レフト カラム : 1	
* メッセージ・デ・ータ メンテン フォーム タイプ 終了 ライン 番号 終了 オフセット 開始 ライン 番号 開始 オフセット デ・ータ/ストリンク・長 挿入 ストリンク・	TESTFORM 1		,
 F7=オリジナル 値の保管 +	F10= 複写		 - +
F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F15=フォーム を1行下に移動		F12= 前画面	

メッセージリストの件名に表示させたいスプールファイル中の印刷データ域を指定します。 開始ライン番号に、印刷データ域(例:99:99:99)の印字されている行を指定します。 開始オフセットに、印刷データ域の印字が開始されている桁を指定します。 データ/ストリング長に、印刷データ域の幅を指定します。

上記設定内容は、スプールデータ 7 行目の 72 桁目から幅 8 バイトで時刻が印字されている場合の例です。 実行キーを押します。

帳票から取得できるデータは、1~132 桁目までになります。

ページレイアウトデザイン

フォーム: TESTFORM メッセージ タイトル フォーマット 編集 トップ ライン: 1

レフト カラム : 1

*...+....1....+....2....+....3....+....4....+....5....+....6....+....7....+....

日付: <----> 時刻: <---->

F1=ヘルプ F5=リフレッシュ F6=レフト/トップ値の変更 F12= 前画面

F15=フォーム を 1 行下に移動 F16=フォーム を 1 行上に移動

設定が終わったら、F12 キーを押して終了します。

メッセージリストに表示されるタイトルは **50 桁**までです。 従って、設定は 50 桁以内になるように行って下さい。

フォーマット: 1 QSECOFR WILCOMM メッセージ・リス	F 8:52PM 0/12/01
メッセージ・牛名	状況
MSG02837 日付: 00/12/01 時刻: 19:22:28	送信中
MSG02836 WILCOMM インターセフ゜ター : DEFAULT-WM	E-M 送信済
MSG02835 受注確認書 2000/12/01 15:00:03	E-M 送信済
MSG02834 QSECOFR 00/11/30 CSV ファイ	ル送信 E-M 送信済
MSG02830 <r> 5408-7683</r>	FAX 送信済
MSG02829 WILCOMM インターセプター : PDF 変換	E-M 送信済
MSG02828 WILCOMM インターセプター : PDF 変換	E-M 送信済
MSG02827 WILCOMM インターセプ・ター : FAX & MAIL	MS- 送信済
MSG02823 QSECOFR 00/11/29	E-M 送信済
MSG02821 WILCOMM インターセフ [®] ター : PDF	E-M 送信済
MSG02820 WILCOMM インターセプター : FAX 装置	FAX 送信済
MSG02819 WILCOMM インターセプター : FAX 装置	FAX 送信済
MSG02818 WILCOMM インターセフ [®] ター : PDF	E-M 送信済

1= 編集 2= 変更 3=コピ- 4= 削除 5= 表示 6= 印刷 7=アドレス 8= 送信 9= 保留 0= 開放 F3= 終了 F4=メッセージ 表示 F5= 最新表示 F6= 新規作成 F7=フォーマット 選択 F8=ディレクトリー F9=ユーザー・オプション F10=フィルター F11= 表示切替 F12= 前画面

実行結果は上記のようになります。

表示されている日付や時刻は、印刷物に印刷されていたものですので、実際の送信日付や 時刻とは異なります。あくまでも目安としてご使用下さい。